



## 堺探訪第二回～堺旧港から利晶の杜へ 活動報告

- ・実施日時 2023年2月16日 10時30分 南海本線堺駅 西改札口集合
- ・参加者 20人 (浅野、大石、金戸、河合、川端、木村、権野、杉谷、東川、西井、秦、福嶋(明)、福嶋(昭)、藤井、万井、李三、森、山下、倭、山本)

この日は寒さが厳しくなるとの予報で、皆さん着込んで参加して下さいました。確かに海沿いは風が冷たかったけれど、時に陽射しも有り、まずまずの街歩き日和であった。

10:30 堺駅西口から堺旧港へと歩き始めるとすぐ前方に龍女神像が見え隠れした。昔、南蛮貿易の拠点であった港に今はクルーザーや小さな漁船が停泊している。呂宋助左衛門像に「黄金の日々」をしのび、旧堺燈台に明治以後の近代化に思いをはせた。

11:30 大浜公園内へ。かつて海水浴場、料理旅館、水族館、公会堂などが有り、内国勧業博覧会の会場ともなった場所は、相撲場・武道館・プールなどの施設が建ち並び、さらに新たな施設の工事中でもあり、殺風景な印象であった。その中で蘇鉄山は、日本一低い山というユーモアがいい。1等三角点を確認した。

その後、堺魚市場、堺事件発生地を経て神明神社へ。7、8人が50円のお賽銭を納めて、セルフサービスで蘇鉄山登山認定証をいただいた。

12:30 利晶の杜着。ガイドさんとの約束の時間より20分ほど遅れてしまったが、快く時間変更に応じていただき、1時間10分ほどの昼食時間を取ることができた。近隣の食事処で各自昼食。

13:40 より2班に分かれ、利晶の杜 館内ガイドツアーに参加し、また館外の史跡(宿院頓宮、開口神社、与謝野晶子生家跡、利休屋敷跡など)を散策した。

館内では、利休の生い立ちや死の真相、三千家の由来に、また与謝野晶子が12人(1人夭折)の子を産み育てた事や、夫の留学費用捻出のために書いた百首屏風に、興味を持たれた方が多かったようだ。

15:30 利晶の杜前にて解散。阪堺線宿院駅、または南海本線堺駅より帰路につく。

昨年の7月に続き、今年度森海では2度目の堺街歩き。何度も訪れていても、環濠都市として独特の発展をしてきた町の様子を改めて知ることができた。堺観光ガイドブックの言葉どおり「海と港で栄えた文化がスゴイ!」



記録 Cグループ 川端佳子 福嶋明子